

大野ひろ子の 議会報告



平成23年度 第2回定例会（6月議会） の主な議題

東北地方太平洋沖地震の 被災者に対する義援金について

▼市民から寄せられた寄付は
総額で約3265万円に

3月11日におきた未曾有の大災害は、その後福島原発事故に続き未だ不安な社会状況が続いています。鶴ヶ島市内でも各所で募金活動が展開され義援金、日赤、共同募金、タウンチップの4つの窓口で寄せられました。そのうち義援金は約1730万円です。条例に基づいて一般会計から「寄付によるまちづくり基金」に積み立てられ、支出の際はまた改めて取り崩して歳出します。

5月臨時議会で承認、送られた支出を含み1920万円（内市から200万円）が宮城、福島、茨城、岩手に皆さんの思いが少しでも早く届くようにと直接送られました。

地域支え合い推進事業について

▼第二小学校区で地域支え合い事業が
始まります。

県の市町村・NPO等協働モデル推進事業で、県内10団体での取り組みとなります。これまでも10自治会で自主的に防災やネットワークづくりが進められてきた第二小学校区がモデルとなります。ミニFM局や助け合い隊、自由な遊びを創造するプレイパーク等を通じて地域の絆を作っていきます。防災、福祉、子育ての3つの部会を通じてコミュニティの活性化や新しい公共の担い手の育成を目的としています。

小学校及び中学校の体育館耐震 補強事業（設計）について

▼小学校及び中学校の体育館耐震補強
事業前倒しで承認

東北地方太平洋沖地震に伴い、各施設で緊急的な補修工事は実施されています。また、震災によりこれまでの前提が大きく変わり、学校体育館の耐震補強事業を前倒しで実施することになりました。校舎の補強事業は昨年までに完了していません。

23年度予算に計上済みは「新町小」「長久保小」、今回の補正では「鶴ヶ島中」「杉下小」「第二小」、24年度以降計画で「栄小」「富士見中」「藤中」の8校です。阪神淡路や宮城県沖地震で倒壊したのが耐震基準のなかった昭和56年以前に建てられたものだったことを受けての計画です。IS値（耐震指標）0.7未満が対象となっています。震度やマグニチュードは解釈に幅があるためIS値で統一していません。

南小・中、藤小、西中は昭和56年以降耐震基準によること、また、第一小は平成8年に大規模改修が済んでいることから今回の補強事業には含まれません。

「地域子育て支援推進事業」

冬のインフルエンザ対策として保育所等に62台の加湿機能付の空気清浄機を購入します。熱中症対策にジェル状の保冷材とクーラーボックスを購入します。

「放課後児童クラブ熱中症対策事業」
長久保小学校区のはちまんクラブと藤小学校区のおくしんぼクラブにエアコンを購入。その他のクラブは既に設置されています。子どもたちの育つ環境が少しずつ快適になっていくのは嬉しいですね。

★新人メモ★

全員協議会（5/2）

市議会議員選挙後、5月2日、全員協議会が開かれました。全員協議会では、市議会の組織などについて説明があり、議会の全体像が見えてきました。

鶴ヶ島市議会には民政クラブ、公明党、日本共産党、いずみ会の4つの会派があります。私は会派に属しませんが、市民ネットワーク鶴ヶ島で集めたみなさんの意見を着実に表明していきます。

臨時議会（5/10）

総務・産業建設・文教厚生とある常任委員会で私は文教厚生常任委員になりました。主に教育や福祉に関する案件を審議します。委員会制度は審議の実を挙げるために工夫されたもので、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の三種があります。

広域静苑組合議会を担当することになりました。広域静苑組合は鳩山・越生・毛呂山・鶴ヶ島の合同で火葬場の設置及び維持管理を行っています。他にも上水道、ごみ処理など事務の一部を複数の市町村が共同で処理するための団体があります。

市議会だよりを編集する議会報編集委員も受け、6月1日に配布された新議会を紹介する臨時号から関わりました。分かりやすい市議会だよりをお届けできるよう努めていきます。



年々厳しさを増す暑さ、小中学校の学習環境が不安です。
子どもたちの育つ環境が少しずつ快適になっていく中、小中学校の暑さ対策も真剣に考えるべきではないでしょうか。

